

# はせさんず

2017 夏号 NO.79

エヌエス

発行 2017年9月15日(金)  
認定NPO法人たすけあい大田はせさんず  
理事長 棧敷 洋子  
〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3  
はせさんず(会員制) 03-5747-2610  
ヘルパーステーション 03-5747-2816  
ケアサポーター 03-5747-2800  
デイホーム 03-5747-2660  
元氣かい 03-5747-2605  
FAX専用 03-5747-2620

はせさんずは会員制のたすけあいの会です。入会随時受付!

NPOの非営利活動にご寄附ご支援をお願いします

## 医療・介護に奮闘中

地域生活を支える専門職たち  
はせさんずスタッフがインタビュー

### 訪問看護



田園調布医師会立訪問看護  
ステーション 管理者  
田中千賀子さん  
訪問看護認定看護師

元気に成長していくのを見られるのもうれし、看取りの場面でも、家での最期といえるのは誰でも不安なのでそこに寄り添いながら、家族と本人の納得のいく最期を迎えられたときは、この仕事をしていてよかったです。

◆将来の夢は？  
学生や実習・研修に来る人に訪問看護のよさを伝えたいというのがまず最初の夢でした。訪問看護ステーションを立ち上げたものの、運営や経営を知らないで仕事している人たちが多く。東京都が公募していた、訪問看護師の育成、定着を図るため、研修や他職や、手すりをつけるなどの住宅改修を行う際に、利用者の実施する「訪問看護教育ステーション」に採用されたので、9月からスタートします。訪問看護を通して、地域の人たちが家でも安心して暮らせるよう、それぞれの医師の指示で動きます。管理者は訪問看護師と地域との間に立ってパイプ役として、新規の利用者の依頼や相談に応じたり、退院前カンファレンスに出たり、看診師学校の学生の実習や、看護師の研修も行います。

◆この仕事をしたい理由  
患者は子どもから高齢者までいて、いろいろな場面があります。大きな手術を乗り越えてか、お互いの立場を知り、話

厚生労働省は2025年をめどに、地域に生活する高齢者の住まい・医療・介護・予防防・生活支援を一体的に提供するための「地域包括ケアシステム」の実現をめざしています。「高齢になっても、住み慣れた地域で、自分らしい生活が続けられることができる」ように市区町村が中心となって構築していくこととされています。しかし、地域包括ケアの実現は、誰が地域をつないでコーディネートするのか、自治体でも明確な答えが出ていない状況です。

はせさんずは、国の方針どおりに活動するわけではなく、皆さんが、地域の生活福祉を総合的に考えることは重要だと考えています。20年にわたる「市民ボランティアによる生活支援(たすけあい活動)」をはじめ、「公的制度による介護(ヘルパーステーション、ケアサポーター、デイホーム)」や「介護予防(元氣かい)」などの活動を続けてきました。これから地域での連携やネットワークづくりをめざしていきます。

そこで、今、私たちの地域では、どんな人が、どのような活動をしているのか、はせさんずと連携している専門職

私たちの話を聞きました。

し合える勉強会を開きたいです。地域にある病院の看護師さんとも垣根のない地域包括ケアをやりたいと思います。

(聞き手 生田目綾子)



### 福祉用具



福祉用具専門相談員  
青柳信太郎さん  
フランズベツド株式会社  
マネイカル大田営業所 所長

福祉用具はなかなかない仕事です。それはやりがいですが、企業にはなかなかない仕事で、物を買っただけではない感謝の言葉をもらえるのは、営利企業にはなかなかない仕事です。それはやりがいですが、ケアにはなかなかない仕事で、ケアをやりたいと思

元気が成長していくのを見られるのもうれし、看取りの場面でも、家での最期といえるのは誰でも不安なのでそこに寄り添いながら、家族と本人の納得のいく最期を迎えられたときは、この仕事をしていてよかったです。

◆将来の夢は？  
ケアにはなかなかない仕事です。それはやりがいですが、企業にはなかなかない仕事で、物を買っただけではない感謝の言葉をもらえるのは、営利企業にはなかなかない仕事です。それはやりがいですが、ケアにはなかなかない仕事で、ケアをやりたいと思

◆福祉用具専門相談員とはどんな仕事ですか？  
介護保険制度でベッドや車椅子、杖など用具のレンタルや、手すりをつけるなどの住宅改修を行う際に、利用者の身体や環境に最適なものを選んで提供する仕事です。

◆仕事に就いたきっかけは？  
9月からスタートします。訪問看護を通して、地域の人たちが家でも安心して暮らせるよう、それぞれの医師の指示で動きます。管理者は訪問看護師と地域との間に立ってパイプ役として、新規の利用者の依頼や相談に応じたり、退院前カンファレンスに出たり、看診師学校の学生の実習や、看護師の研修も行います。

◆この仕事をしたい理由  
患者は子どもから高齢者までいて、いろいろな場面があります。大きな手術を乗り越えてか、お互いの立場を知り、話

◆地域で続けるには？  
利益や業績だけでなく、物と一緒に優しさが提供できることが必要だと思います。

(聞き手 山田麻澄)



◆この仕事をしたい理由  
患者は子どもから高齢者までいて、いろいろな場面があります。大きな手術を乗り越えてか、お互いの立場を知り、話

### 訪問診療

在宅療養支援診療所  
つばさクリニック

院長  
石田徹さん



### ◆在宅医療(訪問診療)を始め

たきつけは？  
医者になつたら病気を治すという視点で循環器を選びました。が、大学病院での急性期治療は患者を生かすためできる限りのことをする、ICUでも心臓が動いているかどうかからないけど薬使つて動かし、結果的にうまくいくこともあるけどいいかないこともあるという状況でした。一生懸命やっていますけど、こいうやり方はどうだろうという思いがありました。

実家も医者でしたが、高齢者の集まる老人病院のようそこでしていることは、静かに生活をして、表現悪いかもしれないけど、いかに静かに終わらせるかというまったく逆の世界でした。どちらが本当によいのか悩み、結局、在宅医療に飛び込みました。

### ◆この仕事をしたいという理由

「また来てね」とか「待つてだよ」と言われるなど、治療をするというよりは、日常的に待たれていることはいれ

### ◆医療と福祉の連携について

たとえば患者(利用者)を乗せた車の車輪。医療、看護、介護、家族が4つの車輪となり走る。人生だから道は凸凹でいろんなことがあるけど、車輪がうまく回れば凸凹道も走れるし、うまく走れないと患者は車酔いして心地よくない。運転は家族やケアマネで調整することが連携のみそかなと思つています。医療の車輪が大きくでしゃばっても車は動かないし、むしろパンクしてだめだと思ひます。

### ◆将来の夢は？

同じような気持ちの人たちと知り合つて、今のやり方を続けていきたい。街の商店がコンビニに変わるように、多分、在宅診療もチェーン化が進むでしょう。便利でよいけど味気ないし、患者の生活を人を知ることや心がけて、利用者や言葉で話すこと以外にも、身振り手振りや表情を見て、自分なりにその人をとらえることが大切だと思ひます。

### ◆在宅の看取りについて

医療側としてはいつでも受け入れてできますが、家族はエソプステージに慣れていないので、何が起るかわからないうという状況と隣り合わせでいることはすごい負担になると思います。いろいろな考え方があり状況によつても変わるので答えがない。そこをうまくカバーして、家族が後悔なく乗り越えられるよう一緒にやつていければいいと思ひます。

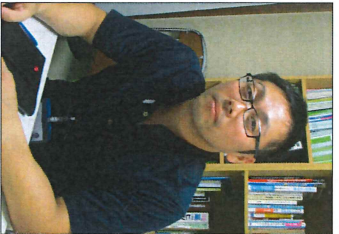
(聞き手 榎拓巳)



### 障害者相談支援

NPO法人ライフサポート  
かたつむり相談支援事業所

相談支援専門員・社会福祉士  
鈴木啓太さん



### ◆相談支援専門員とはどんな仕事ですか？

障害福祉サービスの利用の障害者や計画作成、モニタリングなどを行い、障害者の自立した生活を支え、適切なサービス利用を支援します。

利用者はおにもに精神障害者。利用者の希望や望んでいることをかなえていくためにその人を知ることや心がけて、利用者や言葉で話すこと以外にも、身振り手振りや表情を見て、自分なりにその人をとらえることが大切だと思ひます。

### ◆この仕事をしたいという理由

行きすぎるとエゴの塊になつてしまふ。利用者から聞けるとうれしいすか(残念)とかいう言葉を

### ◆将来の夢は？

現状は、相談支援専門員がまだ利用者のことをよく知らないのに「サービス調整したの」で計画書をつくつてというふうな本末転倒な依頼が多い。サービス利用にあつては相談支援専門員がかかわるという制度になつたので仕方がないところもありますが、おかしさを感じます。本来求められている、最初から相談のつてどういうサービスが必要か一緒に悩んだり、考えたりする業務ができる日があればいいなと思ひます。

### ◆「地域包括ケア」について感じていることは？

私たちは障害者本人の自立をめざしていますが、その両方を考え、状況に合わせて、親のケアも意識しています。本人が40〜50歳を超えると親が認知症になる割合は増えてくるので、早めに地域包括支援センターに情報提供しようと思ひますが、本人や家族の理解が得られないことも多く難しい。モニタリング訪問のときに地域包括支援センターの人に同行してもらつたりします。

### ◆介護保険との連携について

今は65歳になると障害福祉サービスから介護保険サービスになり、制度上切れてしまふので、支援の継続性など不都合なこともある。相談支援専門員とケアマネジャーがお互いの仕事内容を知つて、協力・連携しながら支援できるといふと思ひます。



(聞き手 池内詩保)

### 服薬管理 訪問薬剤師

株式会社フアニコス  
フアニコス薬局 あい

薬剤師  
大達礼子さん



### ◆訪問薬剤師とはどんな仕事ですか？

薬局に来られない患者の家へ訪問し、薬剤管理を行います。患者の状況に応じて、どの薬を飲むかを考え、状況を合わせて、薬カレンダールや薬カセットを使うこともあります。窓口でとなかなか踏み込んだことはできませんが、訪問するとわかることや見えることもあり、主治医の指示と患者との契約が必要ですが、訪問の必要を感じる場合には、その上にサービスが入ることが重要だと思います。隣に誰が住んでいるのかわからないような世の中です。近所の人がいること、何かあったときに頼れるような人と人との連携が大

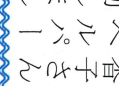
### ◆この仕事をしたいという理由

90歳過ぎの独居の人が家の重い扉を開けるのが大変で、近所の人がいとも開けに来てくれるという話を聞きました。そういう地域の見守りが大事で、その上にサービスが入ることが重要だと思います。隣に誰が住んでいるのかわからないような世の中です。近所の人がいること、何かあったときに頼れるような人と人との連携が大

事だと感じます。  
(聞き手 渡邊由香子)

9月から渡邊由香子さんがダイホームからヘルパーとして活躍しています。どうぞよろしく。

### ◆事務局だよ



(聞き手 渡邊由香子)

### ◆将来の夢は？

より多くの知識を身につけて薬剤師としての職能を訪問先でもつと発揮できるようにしたい。そして、知識を深めたい。近所の人と話をしたい。近所の人と話をしたい。近所の人と話をしたい。

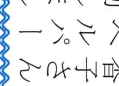
### ◆「地域包括ケア」について感じていることは？

90歳過ぎの独居の人が家の重い扉を開けるのが大変で、近所の人がいとも開けに来てくれるという話を聞きました。そういう地域の見守りが大事で、その上にサービスが入ることが重要だと思います。隣に誰が住んでいるのかわからないような世の中です。近所の人がいること、何かあったときに頼れるような人と人との連携が大

事だと感じます。  
(聞き手 渡邊由香子)

9月から渡邊由香子さんがダイホームからヘルパーとして活躍しています。どうぞよろしく。

### ◆事務局だよ



(聞き手 渡邊由香子)